

実施日： 2026年6月10日

学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校

評価者：

自己点検・自己評価						
大項目	中項目		評価対象項目	2025年度		学校関係者評価コメント（中本）
				評点	評点平均	
1. 教育理念・目的	1）学校の教育理念・目的・目標の設定	(1)	教育理念は明文化している。	2	1.75	・ (4)(5)について自己評価が以前に比較して良くなっていることは良い。 ・ (6)学生すべてに浸透させていくことは大変むづかしい。
		(2)	学校独自の教育理念を持っている。	2		
		(3)	教育理念・目的・目標は人材育成の内容と一致している。	2		
	2）教育理念・目的・目標の達成	(4)	教職員は教育理念・目的・目標について認識している。	2		
		(5)	教職員は教育理念・目的・目標に向けて努力している。	2		
		(6)	学生は教育理念・目的・目標を理解している。	1		
	3）教育理念・目的・目標の点検	(7)	教育理念・目的・目標と教育課程の考えが一貫している。	2		
		(8)	教育理念・目的・目標は年一回見直している。	1		
2. 学生の受け入れ	1）学生募集の方法	(9)	学校の教育理念・目的・目標を反映した学生募集方針を定めている。	2	1.86	・ 評価は適正と考える。 ・ 学生確保に向け、様々な取り組みを行い、努力されている。 ・ (17)は社会情勢などがあり難しい課題と思う。
		(10)	入学定員を明示している。	2		
		(11)	総合型選抜・学校推薦型選抜・社会人選抜・一般選抜入試制度の有無を明記している。	2		
	2）入学者選抜方法	(12)	入学選抜の方法は明示している。	2		
		(13)	合格基準は明確にしている。	2		
		(14)	転入学の方法・基準を明文化している。	2		
	3）学生募集の広報	(15)	学生募集要項を作成し、看護の情報を提供している。	2		
		(16)	志願者が関心を持つように工夫されている。	2		
	4）学生定員の質・量的充足状況	(17)	在学生は定員の95%以上を充たしている。	0		
		(18)	合格者からの入学率は90%以上である。	2		
		(19)	推薦入試の入学生は定員の60%以内である。	2		
	5）学生募集に関する分析・評価体制	(20)	広報委員会が定期的に開催されている。	2		
		(21)	志願者・合格者・入学者などの推移とその評価がなされている。	2		
		(22)	多様な選抜方法と学生の状況について検討している。	2		
3. 学生生活への支援	1）健康管理	(23)	定期的に健康診断を実施している。	2	1.82	・ ボランティア活動や地域との連携しながら、スポーツ大会など取り組まれている。 ・ （学生アンケート）学生の約1/4がカウンセリングルームの存在が知らない点が気になる。
		(24)	学生が日常生活の健康管理ができるように指導している。	2		
		(25)	臨地実習での感染防止の対策をとっている	2		
		(26)	健康記録は的確に記載し、活用している。	2		
	2）学生相談室の設置と対応	(27)	学生相談の窓口を設けていることを学生に周知している。	2		
		(28)	プライバシーが保持されるシステムができている。	2		
		(29)	学生相談の専任のカウンセラーを置いている。	2		
	3）学生委員会活動への支援	(30)	学生の委員会活動が円滑にいくために助言・指導している。	1		
		(31)	他学年と交流の機会をもっている。	1		
	5）福利厚生	(32)	奨学金制度について学生に周知している。	2		
		(33)	学生は傷害保険に加入している。	2		

実施日： 2026年6月10日

学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校

評価者：

自己点検・自己評価						
大項目	中項目		評価対象項目	2025年度		学校関係者評価コメント（中本）
				評点	評点平均	
4. 教育課程	1) カリキュラムの立案	(34)	教育理念・目標にあった科目設定をしている。	2	1.80	・ 地域とのつながりを重視した教育課程の実践に取り組まれている。
		(35)	教育科目設定には学校の特色を盛り込んでいる。	2		
		(36)	科目設定には学習者・社会のニーズを考慮している。	2		
		(37)	指定規則に合致した科目・単位を設定している。	2		
	2)カリキュラムの効果的編成	(38)	教育理念・目標にあった進度で配列している。	1		
		(39)	科目の位置づけと科目間の関連性を明示している。	2		
		(40)	臨地実習目標は明確に計画されている。	2		
	3)カリキュラムの点検・見直し	(41)	カリキュラムの見直しは、定期的（年1回）に行っている。	2		
		(42)	カリキュラムの見直しは学生・講師・教員の意見を定期的に反映している。	1		
		(43)	臨地実習の計画・指導は効果的であるかを定期的に見直している。	2		
5. 教育活動・教育指導のあり方	1)学習支援（ガイダンス）	(44)	年度初めにカリキュラムガイダンスを行っている。	2	1.50	・ 授業計画に基づき適切に実施されている。 ・ 国試対策の強化に取り組まれない。
		(45)	学生便覧は内容・構成が工夫して作成され、学生が活用している。	1		
		(46)	シラバスが作成され活用について学生に説明している。	1		
	2)授業の計画的遂行・調整	(47)	授業計画に基づいて授業は実施している。	2		
		(48)	時間割の進度は、授業計画通りに行われている。	1		
		(49)	科目毎の授業内容を整理し、担当者へ周知している。	2		
		(50)	状況に応じてオンラインでの授業が行われている	2		
	3)授業科目の担当および時間	(51)	科目を担当する教員（専任・非常勤）は専門分野についての専門家が担当している。	1		
		(52)	教員一人当たりの週授業時間数は15時間以内である。	1		
		(53)	教員の実習担当時間数は3時間毎に1時間程度の準備時間が見込まれている。	1		
		(54)	教員間の講義・実習担当時間の配分はほぼ均等である。	1		
	4)教育の工夫・研究	(55)	授業内容は精選され、学生のレディネスに沿って構成されている。	2		
		(56)	学生が自主的に考え、学習することが可能な授業形態が導入されている。	1		
		(57)	視聴覚教育機器・教材の質と量は十分で、効果的に活用されている。	2		
		(58)	効果的な教育方法について、検討の場を持っている。	1		
		(59)	教育において日常的に教材研究を行っている。	0		
	5)授業評価	(60)	教員は授業終了時に、学生による評価を実施している。	2		
		(61)	学生による評価は評価表を作成し行っている。	2		
		(62)	教員自身による自己評価を実施している。	0		
	6)単位互換	(63)	大学・短大・専修学校への単位互換が可能な科目設定・時間設定である。	2		
		(64)	大学短大卒の入学生に単位の認定制をとっている。	2		
	7)成績評価・単位認定	(65)	評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われている。	2		
		(66)	授業科目毎に評価者と単位認定を明示している。	2		
		(67)	追試験・再試験・単位未修得者の評価基準を明確にしている。	2		
		(68)	進級・進度の基準を明示している。	2		
		(69)	卒業判定会議を定期的を開催している。	2		

実施日： 2026年6月10日

学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校

評価者：

自己点検・自己評価						
大項目	中項目		評価対象項目	2025年度		学校関係者評価コメント（中本）
				評点	評点平均	
6. 実習始動体制	1)実習場の開発	(70)	実習科目の目標・内容に見合った実習施設を確保している。	2	2.00	・適切に取り組まれている。
	2)実習指導体制	(71)	実習要項は各看護学毎に作成している。	2		
		(72)	実習指導者会議は定期的開催している。	2		
		(73)	実習指導体制が明確にされ、指導者は1看護単位に2名以上配置されている。	2		
		(74)	実習指導者は実習要項を元に指導計画を立案・実施・評価している。	2		
		(75)	実習指導員と教員は、役割分担を明確にして指導している。	2		
		(76)	実習指導者は学生の看護ケアに適切にアドバイスできている。	2		
		(77)	実習指導者は看護実践の創意工夫に努める姿勢がある。	2		
7. 研究・研	1)教員の研究活動	(78)	教員は専門領域の研究活動に取り組み公表している。	0	1.20	・公民館講座など地域貢献に取り組まれている。
		(79)	教員は1回/年以上、自主的に研修に参加している。	1		
		(80)	教員は、専門領域の臨地実習、研修を担当している。	2		
		(81)	教員が研修に参加できるようにシステム作りをしている。	1		
	2)研修活動への積極的参加と教員の活動	(82)	教員は対外的に講師としての役割を果たし、活動している。	2		
8. 組織管理・運営	1)学校の組織と関連組織の整備	(83)	教員組織、事務組織は専任者が配置され、運営しやすい組織図ができている。	1	1.56	・円滑な組織管理運営に努められている。 ・各項目でできていない部分は実施に努められたい。 ・危機管理体制についても点検項目として設けた方がよいと思います。
		(84)	教員組織と事務組織は適正に連携している。	2		
		(85)	教員組織は運営に必要な人数と職種が配置されている。	1		
		(86)	事務組織は運営に必要な人数が配置されている。	2		
		(87)	各職員が命令系統に沿ってその役割を果たしている。	1		
		(88)	教員の人事について副学校長・学科長は意見を具申している。	2		
		(89)	教員の将来方針を把握し、助言している。	2		
	2)教師・実習指導者の要件	(90)	教員は資格要件を取得できるようにしている。	2		
		(91)	非常勤講師は資格要件をもとに選考している。	2		
		(92)	実習指導者の資格要件は明示している。	2		
	3)教員人事の適正配置	(93)	教員は看護学の専門領域毎に配置されている。	2		
		(94)	副学校長は専任で配置されている。	1		
		(95)	学科長は専任で配置されている。	1		
		(96)	実習調整者は専任で配置されている。	2		
	4)職員の職務分掌	(97)	職務分掌は作成している。	1		
		(98)	学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	1		
		(99)	副学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	1		
		(100)	事務長・事務長補佐は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	1		
		(101)	学科長・実習調整者は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	1		
		(102)	教員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	2		
		(103)	事務員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	2		
	5)会議への参加運営	(104)	副学校長は運営会議に出席し、必要時意見を述べている。	2		
		(105)	学校運営会議は定期的開催している。	2		
		(106)	教員・カリキュラム会議は月回以上開催している。	1		
		(107)	講師会議は定期的開催している。	1		
	6)学籍の管理	(108)	学籍簿は学籍の記録、履修状況が正確に記載され、証明機能を備えている。	2		
		(109)	学籍簿は保管が適切になされ、秘密が守られている。	2		

実施日： 2026年6月10日

学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校

評価者：

自己点検・自己評価						
大項目	中項目		評価対象項目	2025年度		学校関係者評価コメント（中本）
				評点	評点平均	
9. 施設整備	1)校舎の整備と管理	(110)	看護学別に演習できるような実習室の配置物品等がされている。	2	1.97	・教育環境は整っている。 ・図書室を利用したことがない学生が4割いることが気になります。
		(111)	Wi-Fi環境は整っている。	2		
		(112)	コンピューター備えた部屋を有している。	2		
		(113)	専用の図書室を有している。	2		
		(114)	体育館または講堂を有している。	2		
		(115)	校内施設利用規程は作成している。	2		
		(116)	施設利用規程には学生の自己学習に使用できるように配慮している。	2		
	2)学生支援施設の整備と管理	(117)	保健室がある。	2		
		(118)	学生相談室が設置されている。	2		
		(119)	自習室の整備ができている。	2		
		(120)	学生用トイレ、更衣室がある。	2		
		(121)	学生ホールは交流の場として活用している。	2		
		(122)	学生ホールは整備され、憩いの場作りができている。	2		
	3)図書室の整備と管理	(123)	図書室および資料は分野毎、領域毎に分類され整理されている。	2		
		(124)	蔵書数は学生数に見合った十分な冊数である。	2		
		(125)	専門分野は専門領域毎に計画的に増補している。	2		
		(126)	学術雑誌は指定基準以上の種類を有している。	2		
		(127)	視聴覚機器が整備されている。	2		
		(128)	図書と学術雑誌およびビデオ・DVD等の整備点検はできている。	2		
		(129)	司書を配置している。	2		
		(130)	学生が利用しやすい時間帯に開室している。	2		
		(131)	新刊図書の紹介をしている。	2		
		(132)	必要な図書増備の予算計画ができている。	2		
		(133)	文献検索のためのインターネットの設備がある。	2		
	4)教材の整備と管理	(134)	教材教具は定期的に点検を行っている。	1		
		(135)	専門領域毎に教育内容に合った教材を増備している。	2		
		(136)	機械・器具、標本、模型は学生数に見合って十分な数を整備している。	2		
		(137)	ビデオ・DVD等、視聴覚教材は自己学習に使用できる。	2		
		(138)	教材購入の経費は年次毎に計画し増備している。	2		
10. 社会への貢献	1)地域社会との連携と社会への啓発	(139)	看護教育および看護の情報を公開し、広報活動を行っている。	2	1.50	・地域との連携や地域への貢献に取り組まれている。 ・評価項目「（1）地域社会との連携と社会への啓蒙」については、「啓発」への表現の見直しが望まれる。※「啓蒙」を「啓発」へ修正
		(140)	学校行事は地域社会性を考慮して教育計画に位置づけている。	2		
		(141)	地域への働きかけは社会のニーズに応じた内容である。	2		
	2)近隣関連施設との連携	(142)	地域のボランティア活動に積極的に参加している。	1		
		(143)	地域に学校を開放している。	1		
		(144)	近隣関連施設との情報交換および連携のしくみができている。	1		

実施日： 2026年6月10日

学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校

評価者：

自己点検・自己評価						
大項目	中項目		評価対象項目	2025年度		学校関係者評価コメント（中本）
				評点	評点平均	
11. 予 算	1)事業計画	(145)	学校の事業計画を立てている。	2	1.57	・学生の確保と経費の大部分が人件費であるため、職員の適正な定員管理に努められたい。
		(146)	事業計画は学園の全体計画の中に適切に位置づけられている。	2		
		(147)	中・長期目標の執行計画が立てられている。	1		
	2)予算の執行	(148)	年間の予算計画・執行状況を把握し、必要時修正している。	2		
		(149)	職員は収支の状況を把握している。	1		
	3)経営意識	(150)	職員全員が経営意識を持っている。	1		
		(151)	職員は歳出削減に向けて努力している。	2		
12. 学 校 評 価	1)自己点検・自己評価	(152)	学校自己点検・評価のシステムが作られている。	2	1.80	・適正に実施されている。
		(153)	自己点検・評価に必要な基礎データ等の整備がなされている。	2		
		(154)	自己点検・評価を定期的の実施している。	2		
		(155)	自己点検・評価の結果を公表している。	2		
		(156)	評価を次年度に活かしている。	1		